

## 言語バリアフリー関係府省連絡会議（第2回） 議事要旨

### 1 日時

平成30年9月7日（金） 16：10～17：00

### 2 場所

総務省8階 第1特別会議室

### 3 出席者

#### (1) 構成員等

内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室 柴崎代理、内閣官房 健康・医療戦略室 水井代理、内閣官房 高橋東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官、内閣府 黒田大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）、警察庁 加藤長官官房審議官（国際担当）、消防庁 総務課 南里代理、法務省 矯正局 荘代理、法務省 入国管理局 近江代理、財務省 関税局 秋田代理、文部科学省 藤野サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官、厚生労働省 医政局 北波代理、農林水産省 島田農林水産技術会議事務局研究総務官、経済産業省 島田大臣官房審議官（商務・サービス担当）、国土交通省 山上総合政策局次長、観光庁 田口代理、環境省 国立公園利用推進室 井上代理

#### (2) オブザーバ

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）先進的音声翻訳研究開発推進センター 隅田副研究開発推進センター長

#### (3) 総務省（事務局）

坂井総務副大臣、小林総務大臣政務官、吉田国際戦略局長、泉大臣官房審議官、藤野国際戦略局総務課長、坂中技術政策課長、高村研究推進室長他

### 4 議事要旨

#### (1) 開会

#### (2) 坂井総務副大臣、小林総務大臣政務官からご挨拶

坂井副大臣より、「言葉の壁」を越えた自由な交流を実感できる社会を実現するためには各府省の取組推進が重要である旨ご挨拶があった。また、小林政務官より、多言語音声翻訳技術が社会に実装されて、生活をより良いものへ変えていけるよう、各府省が連携し、良い関係性を築きながら一緒に取組を推進していくことに期待する旨ご挨拶があった。

(3) 議事

ア 多言語音声翻訳技術活用府省の先進的取組紹介

警察庁、文部科学省、厚生労働省、観光庁より【資料2-1】～【資料2-4】に基づき多言語音声翻訳技術の活用事例の紹介があった。

イ 今後の府省連携について意見交換

事務局より多言語対応施策のとりまとめについての説明と、構成員より各府省における多言語対応の現状・課題の説明や府省連携の可能性を期待する発言があった。

(4) 事務連絡

事務局より、次回会合の予定と翻訳バンクの取組に対する協力依頼について説明があった。

(5) 閉会

坂井副大臣より、各府省のご発言を受けて、今後も各府省におけるそれぞれの取組における横連携や情報共有など、府省間連携の取組を鋭意推進していくことに期待する旨の発言があった。

以上